

K 危険予知トレーニングで事故ゼロへ！
霧の中の走行

Y 事故を未然に防ぐために、予測される危険や
危険を避けるための運転について考えてみましょう。



Q

どのような危険があり、どういった運転をする必要がありますか？



**交通
状況**

- 積み荷を満載し、一般道路を使って配送先に向かっています。
- 走行中、霧が発生して前方視界が非常に悪くなっています。

A

このような危険が！

先行車両への追突

・濃い霧が出ると前方が十分に見通せないため、先行車両に気がつかずブレーキを踏むのが遅れて追突する恐れがある。また霧で路面がぬれている場合があり、急ブレーキをかけても乾燥路面よりも制動距離が伸び、追突につながる危険性がある。

対向車や道路わきの工作物への衝突

・霧で前方が見通せないため、カーブのきついところでも速度超過で進入する恐れがある。その場合、曲がり切れなかったり、スリップしたりして、対向車や道路わきの工作物（ガードレール、道路標識など）に衝突する危険性がある。



このような運転を！

- 路面状況に注意するとともに、十分に車間距離をとり、見渡せる範囲内で確実に止まれる速度で走行。
- フォグランプや前照灯（ロービーム）を点灯し、自車の存在を目立たせる。
- 道路の黄（白）線に目を配り、オーバースピードで進入しないようにする。